



Innovation by Chemistry

配布版(抜粋版)

2021年1月25日

グローバル知財戦略フォーラム2021

東レの研究・技術開発戦略 と知財戦略



東レ株式会社 代表取締役 副社長執行役員

技術センター所長(CTO)

知的財産部門・地球環境事業戦略推進室

・ライフイノベーション事業戦略推進室 全般担当

阿部晃一

〔 公益財団法人日本科学技術振興財団 理事
国立研究開発法人 科学技術振興機構 未来社会創造事業 事業統括会議 委員 〕

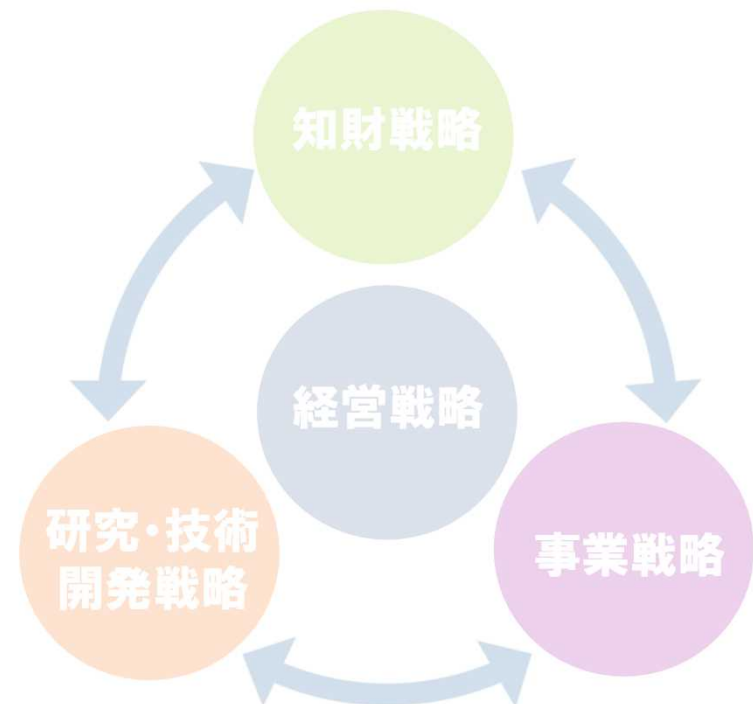


1. 研究・技術開発戦略



未来創造研究センター(2019年12月開所)

2. 知財戦略



1. 研究・技術開発戦略

東レ事業拡大の歴史 -研究・技術開発こそ明日の東レを創る-

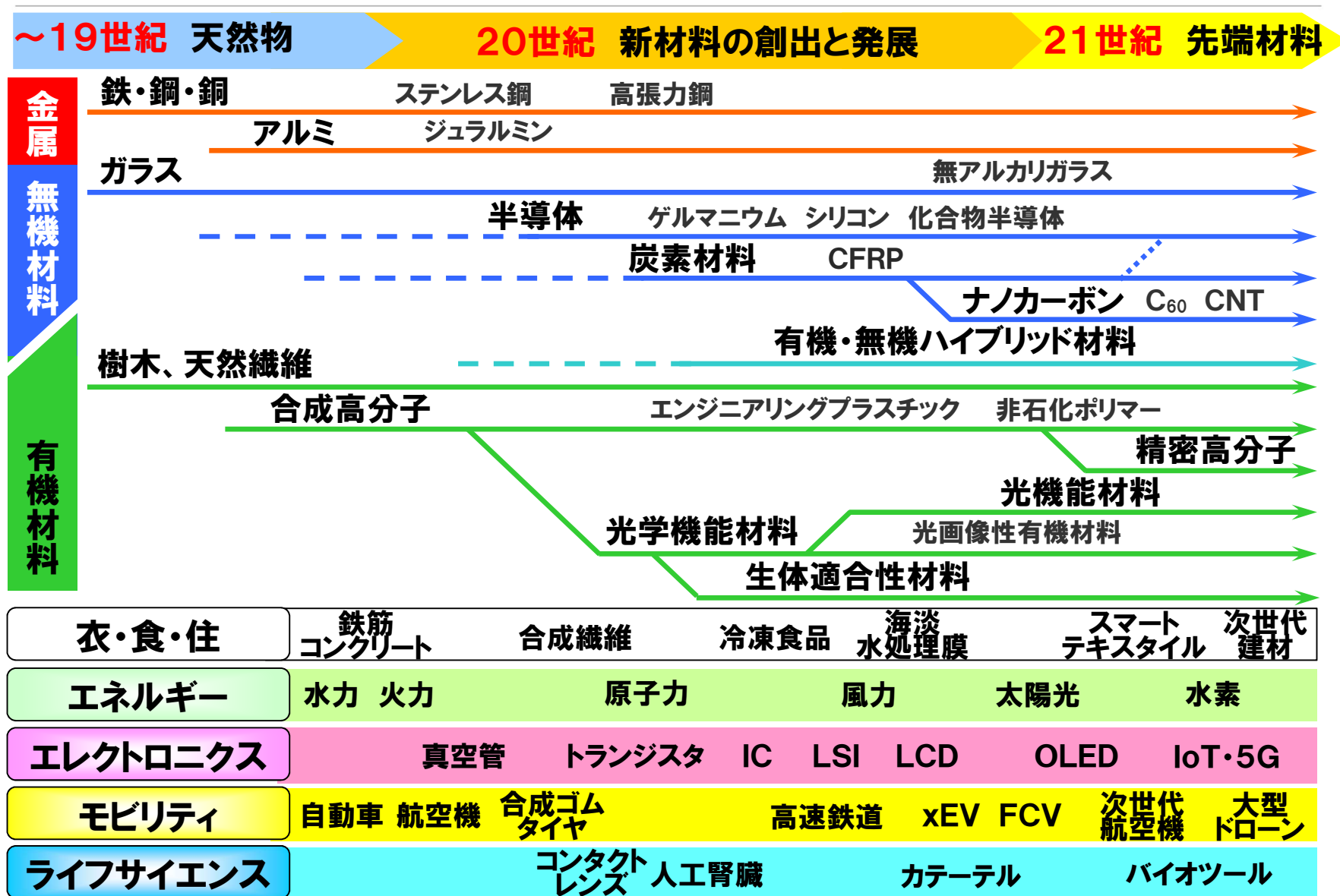


- 東レは過去90年以上、先端材料を創出することで新しい価値を創造してきた
- 今後もコア技術を軸とした革新技术によって先端材料を持続的に創出していく

ヒートテック®は株式会社ファーストリテイリングの登録商標です。
レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

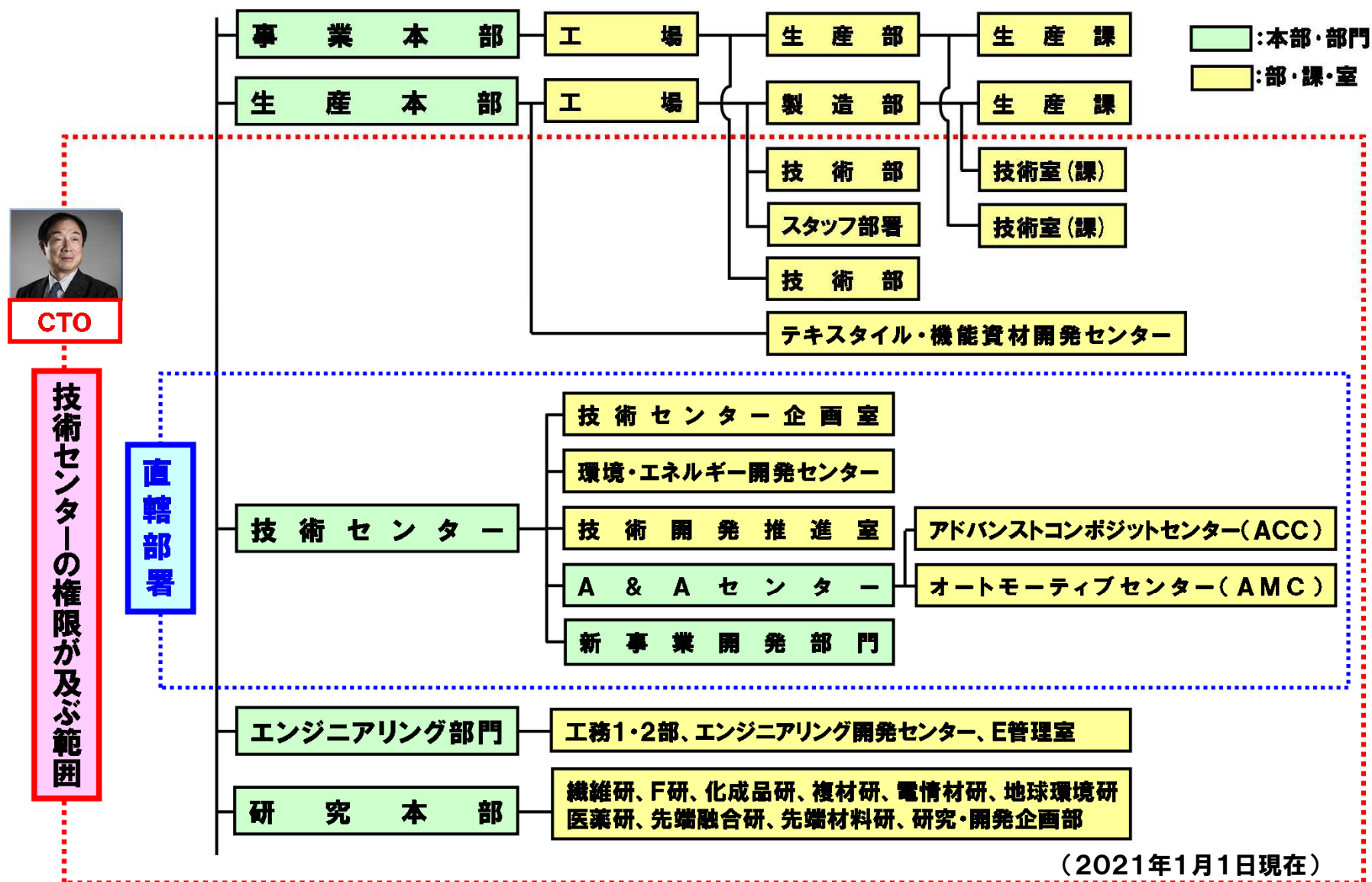
1. 研究・技術開発戦略

先端材料が先端産業を創出する



1. 研究・技術開発戦略

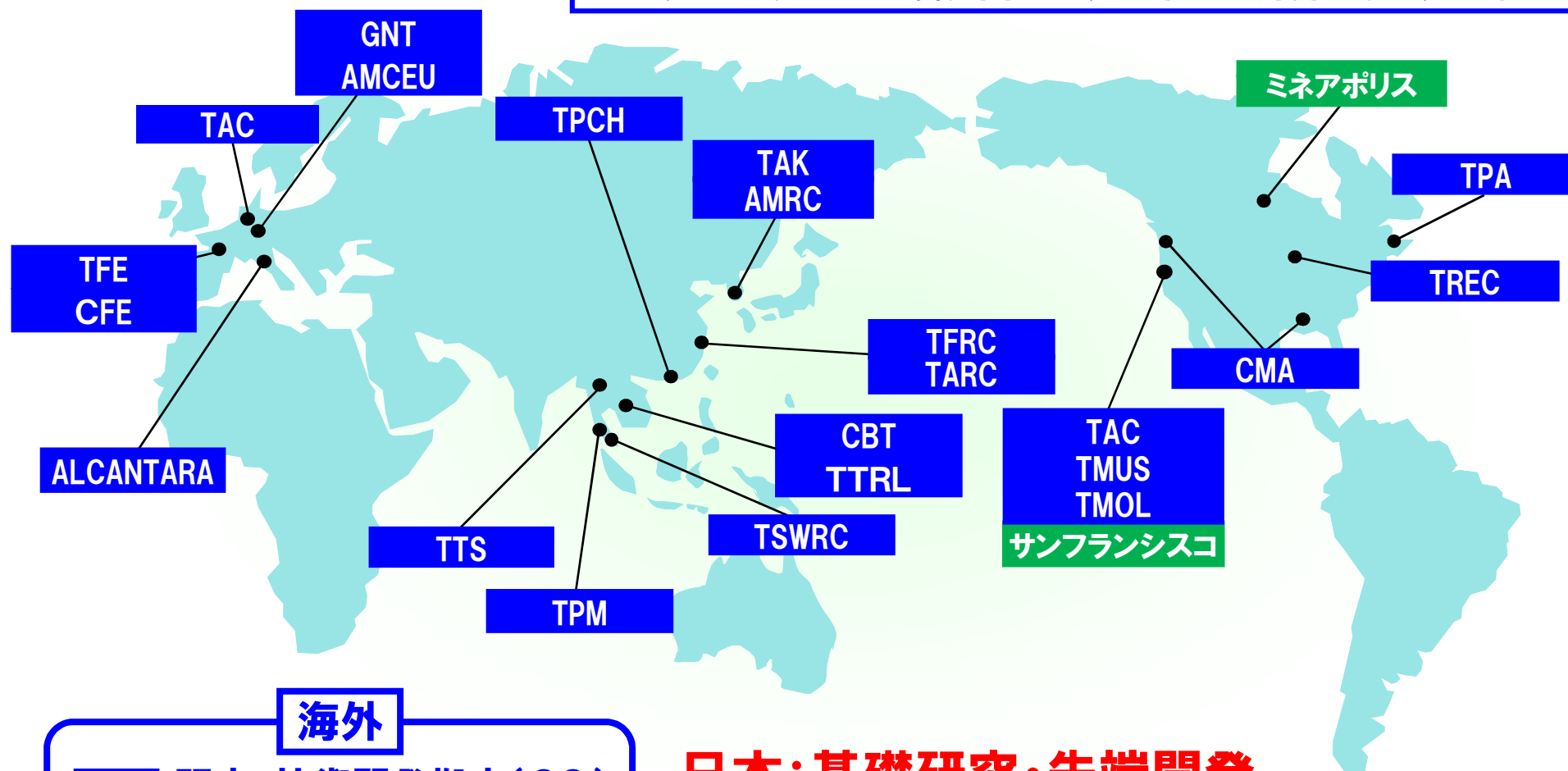
技術センターの組織



1. 研究・技術開発戦略

グローバル研究・技術開発拠点

連結売上高(2019年度):国内:9,617億円、海外:1兆2,529億円



日本:基礎研究・先端開発

海外:現地ニーズを踏まえた商品開発

1. 研究・技術開発戦略

基礎研究の重視

東レを指すキーワード

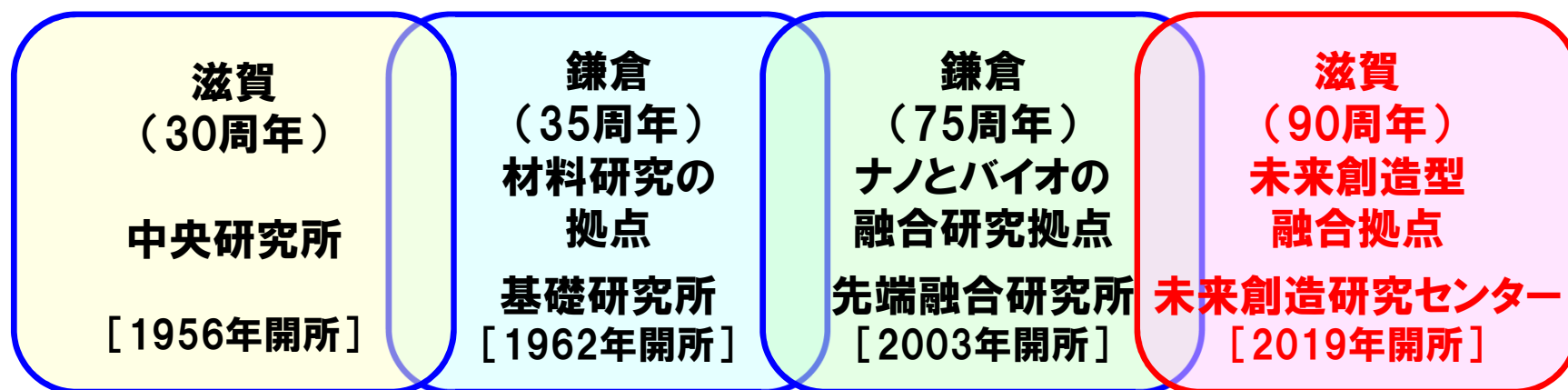
“超継続”が革新を呼ぶ

短期の利益だけを考えて研究・技術開発投資を減らしたり、短期のテーマだけに集中すると、将来のネタが枯れてしまう。



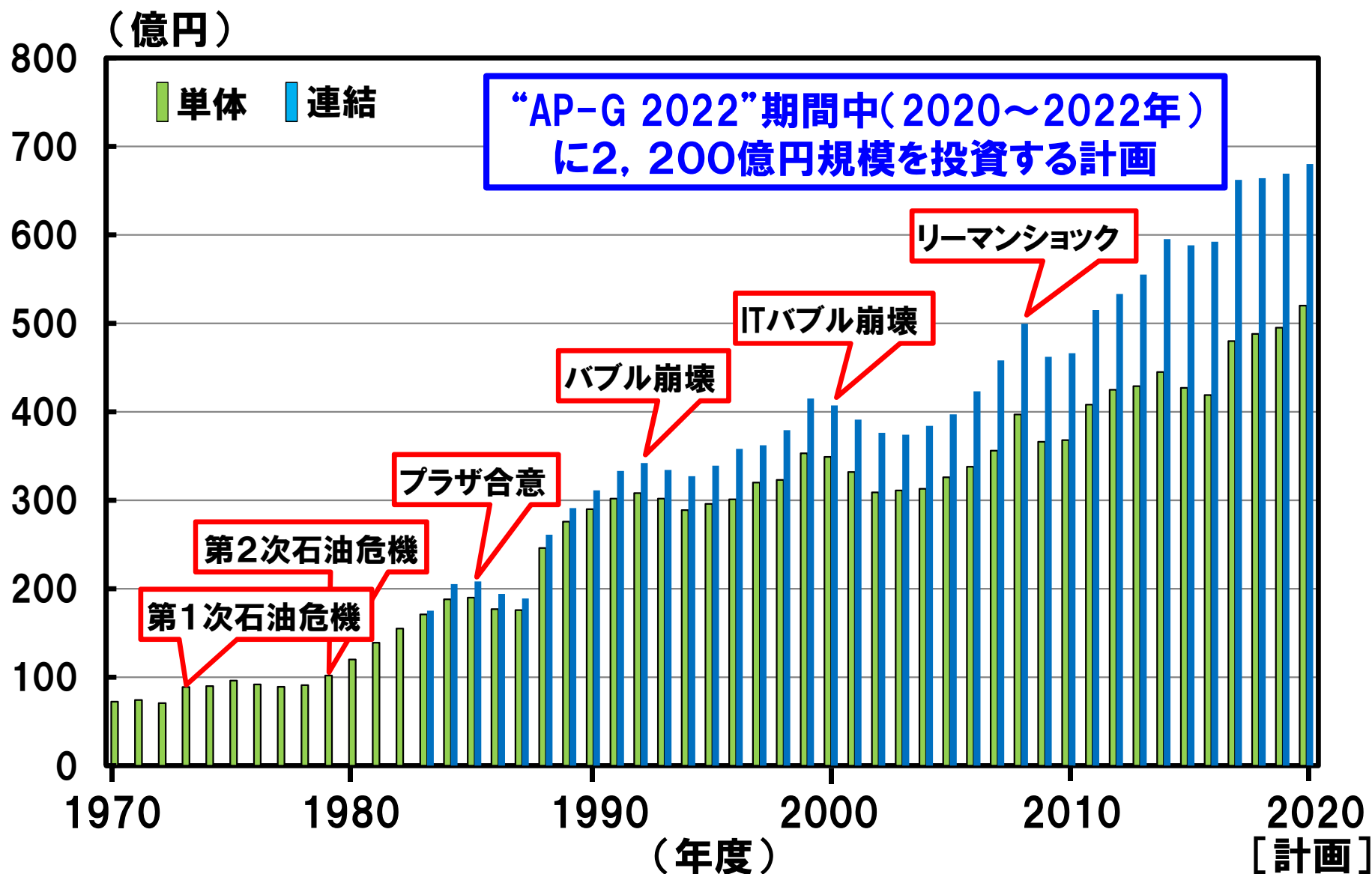
パイプラインマネジメント

今のテーマ、次のテーマ、次の次・・・というように開発のステージごとに重点化



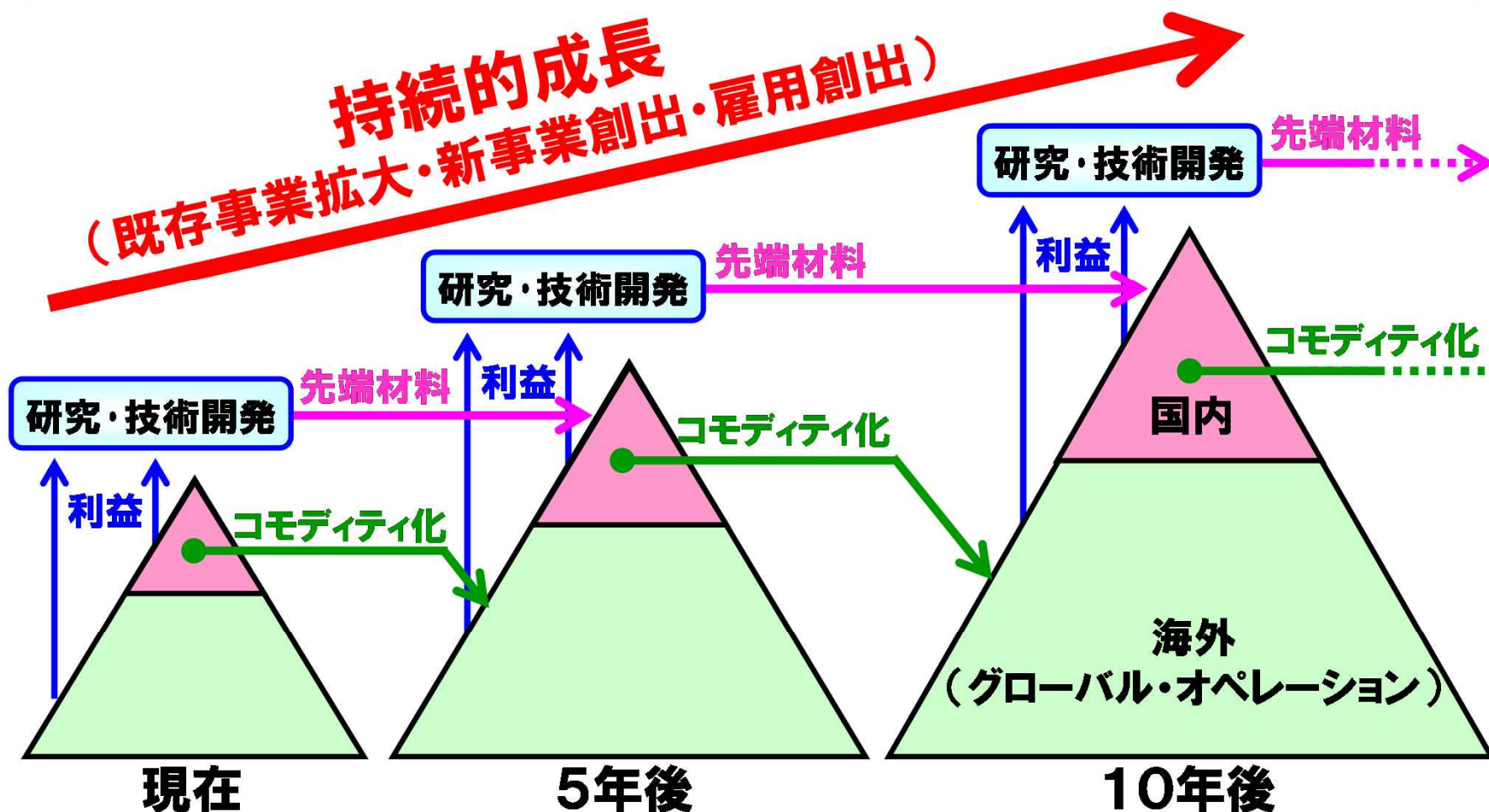
1. 研究・技術開発戦略

東レの研究・技術開発投資



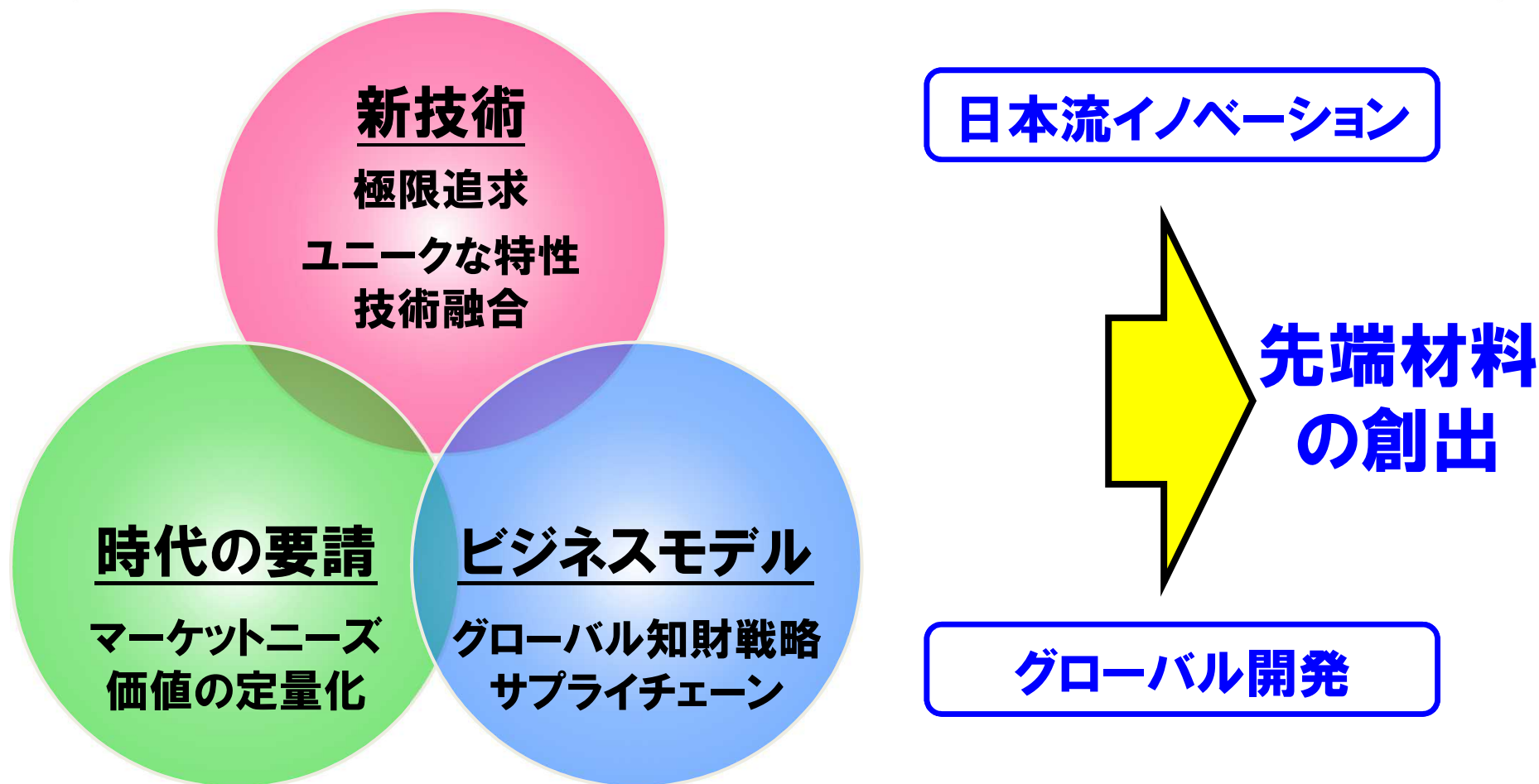
1. 研究・技術開発戦略

持続的成長を可能にするサイクル



- 研究・技術開発(科学技術力)で創出した先端材料は国内(マザー工場)で生産/輸出
- コモディティ化した製品は海外で生産(グローバルオペレーション)、利益を日本に再投資

技術革新による先端材料の持続的創出



- 材料の革新なくしては魅力ある新製品は生まれてこない
- 社会的課題への本質的ソリューション提供には材料革新が不可欠



1. 研究・技術開発戦略



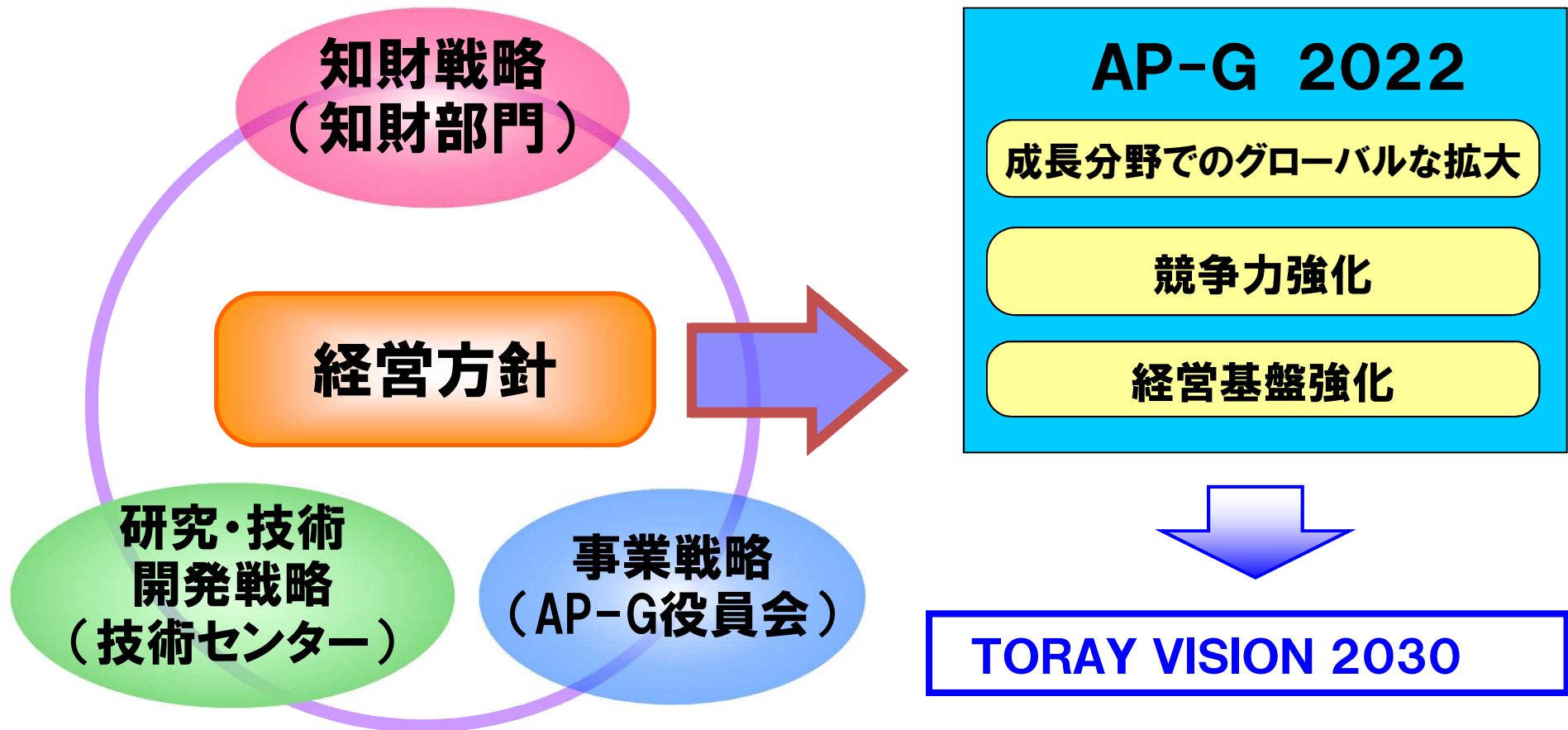
未来創造研究センター(2019年12月開所)

2. 知財戦略



2. 知財戦略

“三位一体”の知財戦略



事業戦略、研究・技術開発戦略と連動した“三位一体”の知財戦略
のもとで東レグループ全体の知財力強化を推進する知財部門

(1) 基本方針

① 経営方針に沿った知的財産戦略

事業戦略、研究・技術開発戦略との連動

② 権利取得の推進

出願・権利化戦略

③ 他人の権利の尊重

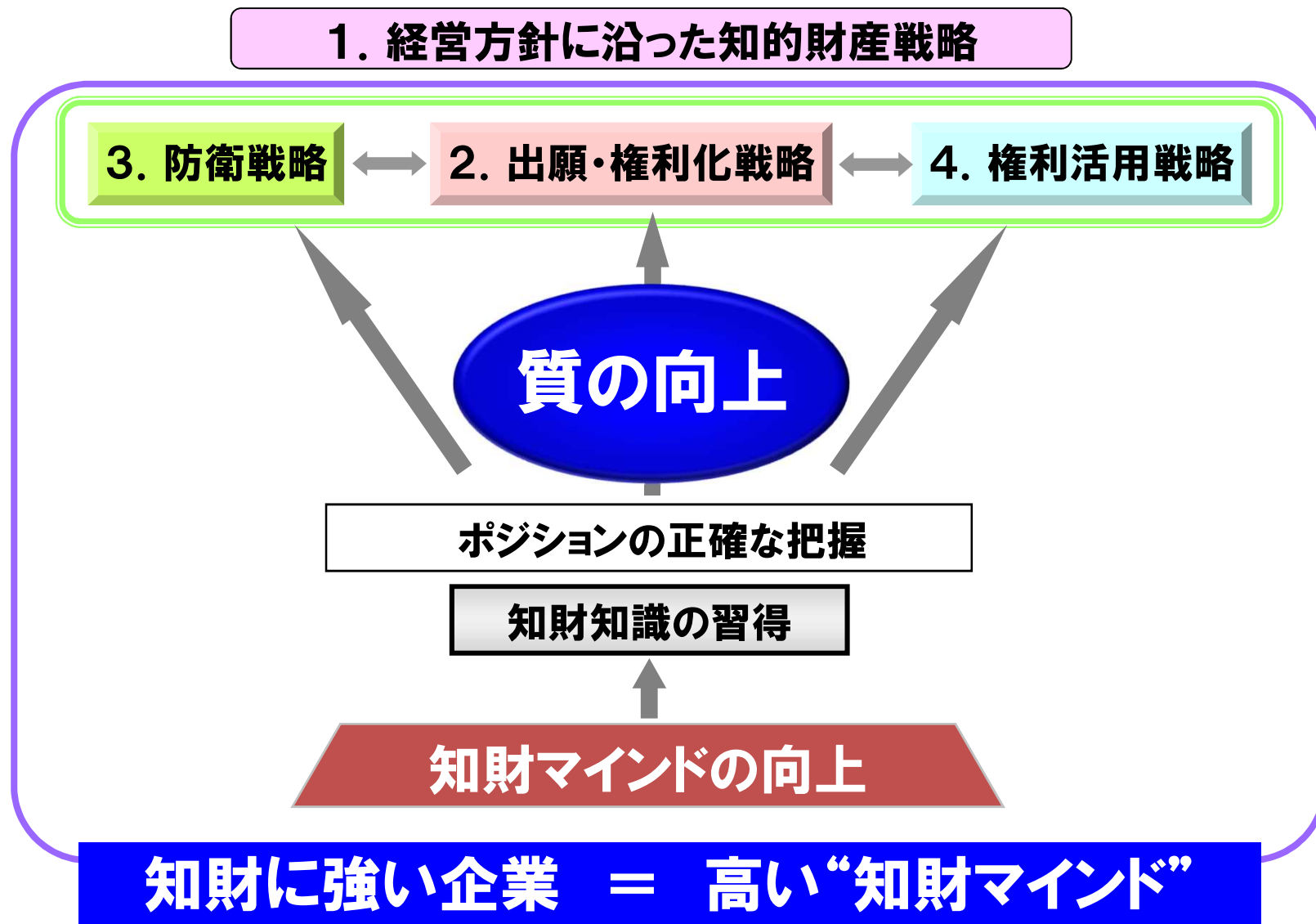
防衛戦略

④ 自己の権利の正当な行使

権利活用戦略

2. 知財戦略

(3) 基本戦略



2. 知財戦略 (3) 基本戦略

A. 経営方針に沿った知的財産戦略

<特許責任体制>

技術領域ごとに特許問題のすべてに対する
責任者として**特許責任者**を設定

- 原則として技術部長クラス
- 責任範囲の特許関連事項についてラインを超えて指示可能

特許責任者は関係する研究、技術、営業部署
メンバーを選定して「**特許会議**」を編成

- 特許責任者の審議機関として1回／2ヶ月以上の頻度で特許会議を開催し、各種特許活動の計画や実行状況をフォロー
- 知財サイドの特許技術担当者は、担当特許会議のほとんどすべての業務を遂行

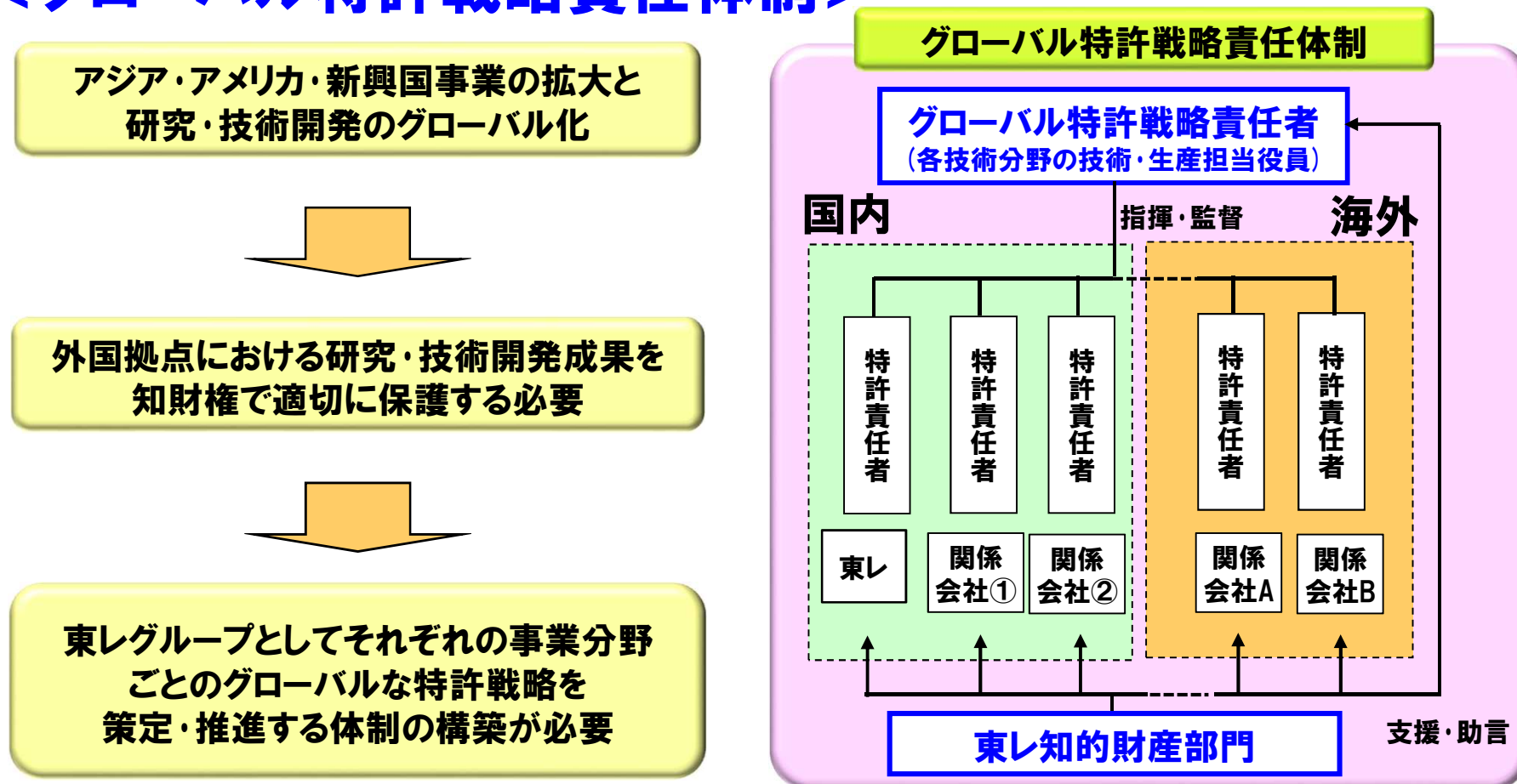


技術領域に関する特許問題は、同じ特許責任者、
同じ特許技術担当者が責任をもって処理する

2. 知財戦略 （4）中長期的な知的財産戦略

A. グローバルな事業拡大に応じた東レグループの知財力強化

<グローバル特許戦略責任体制>



事業のグローバル拡大戦略に合わせた特許戦略責任体制

'TORAY'

Innovation by Chemistry